

レジメン名	ペムブロシマブ+CBDCA+nab-PAC療法	ペムブロシマブ(1)+CBDCA(1)+nab-PAC(1,8,15)【q21d】
がん種又は疾患名	非小細胞肺癌	

承認されたレジメン		承認されたカスタマイズの範囲	
day1			
<本体1>	生食 50mL アロキシン 1V デキサメタゾン 9.9mg パロノセトロン0.75mg/50mL 1袋 6分 ※フィルター付き点滴ラインを使用		ステロイドは省略してはいけない 5 HT3拮抗薬は省略してはいけない
<本体2>	生食 100mL 30分 キイトルーダ 200mg		希釈後の最終濃度は1-10mg/mLとする 200mg/body
<本体3>	生食 50mL 6分		フラッシングのために必須
<側管1>	生食 50mL 6分 ※Rp4以降は本体3終了後、側管から投与 (フィルターは通さない)		
<側管2>	アブラキサン 100mg/m ² 30分 生食 100mL (1バイアル当たり生食20mLで溶解する)		患者の状態に応じて適宜減量してよい (減量の目安：添付文書参照) 生食ボトルを空にして、空ボトルに溶解液の必要量を注入
<側管3>	生食 50mL 6分 ※最初にアブラキサンと同速で16mL注入する 残りの生食34mLを500mL/hrで注入する		フラッシングのために必須
<側管4>	カルボプラチン AUC 6 ブドウ糖5% 250mL 60分		250mL以上の生食またはブドウ糖液で30分以上かけて投与 調製後は8時間以内に投与を終了すること 患者の状態に応じて適宜減量してよい
<側管5>	生食 50mL 6分		フラッシングのために必須 投与速度は約500mL/hrで
day 8,15			
<本体1>	生食 50mL 6分 デキサメタゾン 6.6mg		ステロイドは省略してはいけない
<本体2>	アブラキサン 100mg/m ² 30分 生食 100mL (1バイアル当たり生食20mLで溶解する)		患者の状態に応じて適宜減量してよい (減量の目安：添付文書参照) ※脚注2参照
<本体3>	生食 50mL 6分 ※最初にアブラキサンと同速で16mL注入する 残りの生食34mLを500mL/hrで注入する		フラッシングのために必須
day 2, 3			
<内服>	デカドロン錠 8mg 分2 朝・昼食後		*投与後2、3日目のステロイド (デカドロン8mg/day：経口)を投与する (遅発性の制吐目的)。